

令和3年12月20日 令和3年度学校だよりNO.38① 加古川市立平荘小学校

## 狂言学習を頑張っています(6年生)

12月13日(月)に、山口耕道先生をお招きして、6年生が狂言学習を行いました。この日は、セリフだけではなく、『動き』をつけて練習をしました。

まず、『柿山伏』の練習からスタートしました。

すり足(移動の仕方)や座り方、立ち方、目線(どこを見るか)、扇子の使い方等、山口先生は、範を示

しながら基本の『動き』を指導してくださいました。



山伏の役は、威 ではる感にする。 を出りをであるにする。 をおりているがにする。 をはながれる。 をないながにする。 にいようにする。 目線をあえて上にする。目で見るだけでなく、 顔を起こして高い所を見ることで、大きな柿の 木を表現する。



ーン。柔道の受け身 のようにする。すぐ さまこける方が自分 の体は痛くない。

山伏に呼びかけるように。遠くに呼びかける時は、早口にならないよう





足を縮めて、すぐ下に落ち、転がったと ころが舞台の中央になるようにする。



鳥、猿、鳶の真似をする山伏の見本を示してくだ さっています。

困っている時は、どうしようと思わないと伝わらない。畑主は、 自分の大切に育てた柿の実を、山伏に黙って食べられて腹が立っている。懲らしめてやろうと思っただろう。山伏が下に落ちて転がった時の、畑主の心の変化を感じ取って表現する。山伏が畑主の言葉にのってくれるから、おもしろくなる。

「とびそうな~。とびそうな。」・・・



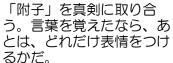


次に、『附子』の練習をしました。『附子』では、言葉を大切に、一言一言ゆっくりはっきりと伝えること が目標です。



「附子」は、何か わからない恐ろし いもの。それを怖 がる太郎冠者・次 郎冠者の気持ちを 表現する。

「お掛物」はどこに かかっている?具体 的に、どこにあるか を想定しながら演じ る。







「天目茶碗」は、どこにある?空中にある?置いている 場所を想定する。お茶碗を割っておもしろいと思って演 じる。心のどこかに罪悪感もある感じで演じる。





山口先生のお話

力でご指導いただき、と てもありがたい機会を いただいております。

- ●「みなさん、不安にならないように。狂言に、『これは、間違っている。』ということはない。一緒に作っていきましょう。自信をもって、(山口先生に) ぶつかってきてほしい。(山口先生は) みなさんの気持 ちを感じ取れないほど鈍感ではないです。」
- ▶「夢中になってほしい。狂言の練習は、一時のことかもしれないけれど、真剣に取り組むことで、きっと 何か得るものがあると思う。」
- 「恥ずかしいと思う気持ちが起こるかもしれないが、『恥ずかしい』という気持ちは、世間には通用しな 61°7
- ▼1.03★1.03★2.03★2.03★2.03★2.03★3.03★4.03 中で経験する。そのことで、人としてのはばが広がるのである。」 (続く)